

情報提供等への取組に関する ガイドラインに基づく情報提供

- (1) 学校の概要、目標及び計画
 - ・学校名
 - ・校長名
 - ・所在地
 - ・連絡方法
 - ・学校の沿革
 - ・教育方針
- (2) 医療秘書科の教育
 - ・入学者数
 - ・在生徒数
 - ・カリキュラム時数
 - ・取得目標資格
 - ・卒業生数
 - ・主な就職先・就職率
 - ・退学率・中途退学の主な理由・中途退学防止のための取組
- (3) 教職員
- (4) キャリア教育・実践的職業教育
 - ・キャリア教育
 - ・就職支援
- (5) 様々な教育活動・教育環境
 - ・学校行事
 - ・課外活動
- (6) 学生の生活支援
- (7) 学生納付金・修学支援
 - ・学納金
 - ・学納金納入期限
 - ・奨学金と教育ローン
- (8) 学校の財務
- (9) 学校評価

学校法人鈴鹿文化学園

鈴鹿オフィスワーク医療福祉専門学校

(1) 学校の概要、目標及び計画

学 校 名	学校法人鈴鹿文化学園 鈴鹿オフィスワーク医療福祉専門学校
校 長 名	菅谷 耕治
所 在 地	〒513-0826 三重県鈴鹿市住吉二丁目 24-9
連 絡 方 法	TEL:059-370-0311 FAX:059-370-0312 Email:info@soc.ac.jp http://www.soc.ac.jp
学 校 の 沿 革	1986年8月 三重県知事認可 学校法人鈴鹿文化学園認可 鈴鹿オフィスワーク専門学校設置認可 定員 130 名で出発 1987年4月 鈴鹿オフィスワーク専門学校開講 情報処理科設置 1988年3月 第2期増築工事完成 通産省(当時)より「情報化人材育成連携校」指定 6月 文化講演会 作家故遠藤周作氏来校 1989年7月 文化公園会 作家梅原猛氏来校 1990年4月 情報処理科定員 80 名に変更 1991年4月 医療秘書科新設 本館及びオバルホール完成 1992年4月 産業能率短期大学と教育交流開始 情報処理科に研究生コース新設 1993年4月 鈴鹿市医師会推薦校の指定 第1回「愉快的な音楽会」を開催 1994年4月 情報処理科に経営情報コースを新設 1995年4月 情報処理科を経営情報科とし、 新たに高度情報処理システム科を新設 12月 厚生省(当時)より介護福祉科認可 1996年2月 10周年記念講演会ケントギルバート氏来校 3月 第2回「愉快的な音楽会」を開催 4月 鈴鹿オフィスワーク医療福祉専門学校に校名変更 1997年4月 経営情報科を総合ビジネス科とし、経営ビジネス コース、福祉事務コース、公務員受験コースを 新設 1998年4月 リカレント教育センター設立 1999年7月 厚生省(当時)より委託訓練 2000年9月 厚生省(当時)より委託訓練 OAシステム科開校 2001年3月 情報通信技術講習 IT 講習開講

	2003年4月 介護ビジネス実務科開校(雇用能力開発機構) 2006年4月 介護技術講習会開講 介護福祉士国家試験受験対策講座開講 鈴鹿地区薬剤師会推薦校の指定 2008年4月 認知症対応型通所介護・共同生活介護事業所 2009年2月 愛すみよし苑
教育方針	本校は、教育基本法及び学校教育法に基づき、仏教を徳育の基本とし、高等学校教育の基礎の上に、さらに高度な専門教育を五度超し、併せて人格を陶冶し、現代社会に貢献する感性豊かな人材の育成に努める。

(2) 各学科等の教育

*医療秘書科

入学者数	31名(平成26年度)
在 student 数	69名(平成26年度)
カリキュラム時数	1905時間
取得目標資格	医療秘書技能検定 メディカルクラーク 医療事務コンピュータ検定 電子カルテ実技検定 調剤事務管理士技能認定試験 介護事務管理士技能認定試験 秘書技能検定 日商PC検定
卒業者数	29名(平成25年度)
主な就職先	医療機関、クリニック等
就職率	96.4%
退学率 中途退学の主な理由 中途退学防止のための取組	1.5% 就職(進路変更による) 面談記録を記載の上、適切な学生指導を継続的に行う。

(3) 教職員

分野	学科名	専任教員数	兼任教員数	総教員数
商業実務	医療秘書科	4人	9人	13人

(4) キャリア教育・実践的職業教育

キャリア教育	就職懇談会・就職ガイダンスの実施
就職支援	担任制を活かしたアシスト制度 指定校求人制度 卒業生の追跡調査を実施することによる地域ニーズの把握

(5) 様々な教育活動・教育環境

学校行事	4月 ・入学式 ・健康診断 ・新入生研修会 5月 ・バス旅行 ・上級救命講習 6月 ・特別検定対策授業 7月 ・医療秘書科病院実習（～8月） ・介護福祉科施設実習（～8月） ・特別検定対策授業 8月 ・夏季休暇 ・人権講義 9月 ・前期試験 10月 ・卒業研修旅行 11月 ・球技大会 ・特別検定対策授業 ・介護福祉施設実習（～12月） 12月 ・全国専門学校球技大会 ・冬季休暇 1月 ・介護福祉士国家試験 ・就職懇談会（1年） ・メイク講習会 2月 ・進級試験 ・卒業試験 ・介護福祉施設実習（～3月） 3月 ・卒業式 ・卒業祝賀パーティー ・春期休暇 ・病院施設見学 ・新入生オリエンテーション
------	--

課外活動	<ul style="list-style-type: none"> ・ 献血活動、ボランティアの実施 ・ 卓球部の活動 毎年全国専門学校卓球選手権大会に出場している。
------	--

(6) 学生の生活支援

- ・ 個別面談の実施
- ・ 提携寮の設置
- ・ 保護者との緊密な連携・協力体制の構築

(7) 学生納付金・修学支援

- ・ 学納金
- ・ 入学金…150,000 円 (円)

授業料		校内実習費		教育充実費		合計	
前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期
230,000	230,000	70,000	70,000	70,000	70,000	390,000	390,000

- ・ 諸費(教科書代等)…約 60,000 円
- ・ 校外実習費…約 15,000 円

・ 学納金納入期限

入学金納入日	前期学納金納入日	後期学納金納入日
合格通知から 20 日以内	3 月末	9 月末

・ 奨学金と教育ローン

- ・ 日本学生支援機構奨学金制度
- ・ 日本政策金融公庫

(8) 学校の財務

「平成 26 年度 財務諸表」参照

(9) 学校評価

「平成 26 年 学校評価自己点検評価」参照